



2026年6月29日
株式会社 JMDC

JMDC、遺伝子統計解析と大規模医療ビッグデータを活用した 皮膚病態の根本的要因を解明するためのプロジェクトを開始 ～ Zene 及びマルホと新たな創薬仮説の創出を加速 ～

株式会社 JMDC（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：野口亮、以下「JMDC」）は、株式会社 Zene（本社：東京都千代田区、代表取締役：井上昌洋、以下「Zene」）及びマルホ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：杉田淳、以下「マルホ」）と、新たな医薬品の開発に向けて、皮膚生理の根本的な特性に関わる遺伝的要因を探索することを目的としたプロジェクトを開始いたしました。

本プロジェクトは、マルホが長年培ってきた皮膚科学領域における深い専門知見（Domain Expertise）と、JMDC 及び Zene が保有する「遺伝子検査データ×レセプトデータ」が統合されたデータベース（以下、「DB」）、及び高度なデータ解析技術を融合させます。これにより、従来では解析することが困難であった「日本における、肌質への遺伝的影響」に迫り、新たな研究成果の実現を目指します。

■ 背景：皮膚科学研究における「データの扱いやすさ」という課題

皮膚領域の研究において、ある病態の要因を特定しようとする際、臨床現場での「炎症反応」や「合併症」といった後天的なノイズが解析の障壁となることが少なくありません。従来のゲノム解析やアンケートベースの研究では、これらの臨床的な交絡因子を完全に排除して「体質そのもの」を定義することが難しく、創薬ターゲットの特定においても、厳密なフィルタリングをすれば検出力の低下を招き、曖昧な定義であれば真に特定したいシグナル検出を妨げるなどのリミテーションに直面してきました。

■ 本プロジェクトの特長：精密な表現型定義によるアプローチ

本プロジェクトでは各社の強みを組み合わせることで、これまでにない高度な解析を実施いたします。

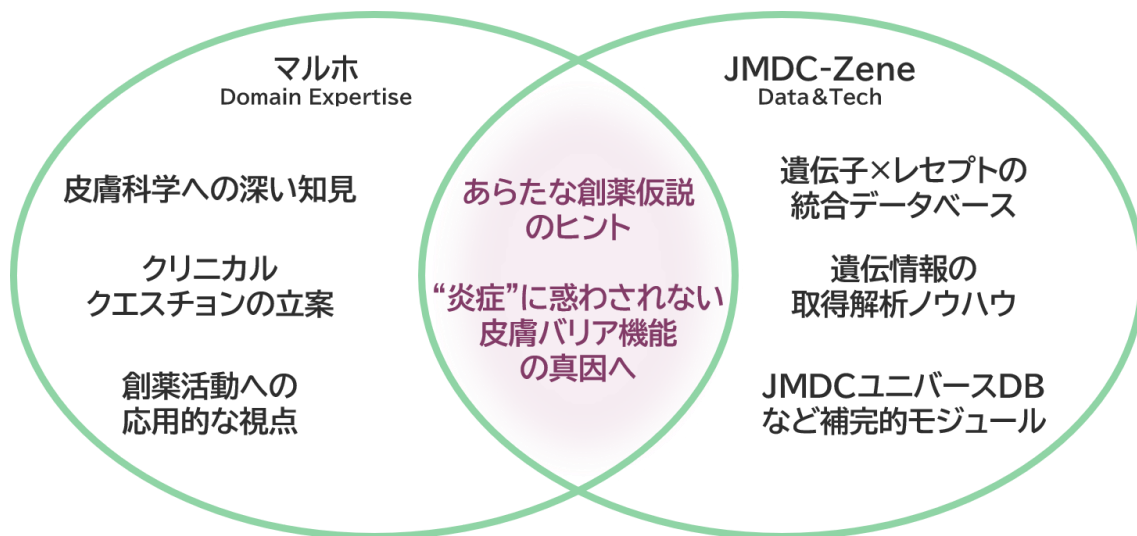
- 「遺伝子検査データ×レセプトデータ」統合 DB の活用：JMDC の PHR（Personal Health Record）サービス「Pep Up」を通じて、一意の ID で連結された大規模な遺伝子検査データと医療レセプトデータを活用します。これにより、個人の遺伝的背景（ジェノタイプ）と、長期にわたる治療歴・処方内容（フェノタイプ）を紐づけた多角的な分析が可能となります。
- 「ノイズ排除」による精密な表現型定義：単なる診断名による分類だけでなく、レセプト上の詳細な処方薬剤情報（ステロイド外用薬のランクや使用期間等）を駆使



し、炎症を伴わない集団をより実態に近い定義で設計します。これにより、皮膚病態の根本に関わる遺伝的素因をクリアに抽出することを試みます。

- 仮説創出の加速：数年を要する一般的な共同研究の枠組みではなく、よりクイックかつハイサイクルなオペレーションを実現することで、創薬の極早期段階における仮説創出を加速します。

【プロジェクト概要イメージ】



■ 今後の展開

JMDC 及び Zene による当該 DB については、リアルワールドデータで検証可能なゲノミクスデータを蓄積することでアジア人集団における高度な解析サービスを実現するものであり、層別化された疾患研究やバイオマーカー探索を促進します。

また、本プロジェクト自体については、得られた知見に基づいて以下のような発展的なオペレーションの実施も検討してまいります。

- 前向きアンケートによるデータ補完：
解析で特定された遺伝子型を持つ層に対し、プラットフォームを介した直接的な調査を実施し、幼少期の発症状況や主観的な QOL（生活の質）など、レセプトでは捕捉できない情報の収集を行います。
- JMDC ユニバースデータとの双方向的な連携：
JMDC が保有する大規模な保険者 DB から得られる疫学的知見を本プロジェクトの枠組みで遺伝学的見地から検証・深化させるとともに、前述の一意型 DB から示さ



れた知見を大規模 DB へ適用することで、市場規模の精緻な推定や合併症リスクの
予見分析へと展開します。

- ウェット研究への接続：
得られた標的候補に対し、グループ会社が保有する技術を用いた化合物アッセイへ
と繋げる等、創薬プロセスの更なる加速を図ります。

今後も引き続き、JMDC が有する多様なデータを活用した様々なプロジェクトを通じ、「社
会課題に対しデータと ICT の力で解決に取り組むことで、持続可能なヘルスケアシステム
の実現」という JMDC の描く未来の実現に資する取組を推進してまいります。



【マルホ株式会社について】

マルホ株式会社は大阪市北区に本社を置く、医療用医薬品等の研究・開発・製造・販売を行う製薬企業です。創業は1915年、ミッションに「あなたといういのちに、もっと笑顔を。」を掲げ、誰もが笑顔で暮らすことのできる社会の実現を目指しています。

また同社は、新薬創出の高度化及び高速化を目指し、RWD（リアルワールドデータ）やビッグデータを活用したデータ駆動型の研究開発活動の強化に取り組んでいます。その一環として、遺伝子情報と医療ビッグデータの統合解析に強みを持つJMDC及びZeneと連携し、従来の手法では評価が困難であった炎症や治療介入などの臨床的影響を考慮した「体質レベルでの皮膚特性」の解析を通じて、皮膚病態の根本的要因の解明に向けたプロジェクトを開始しています。

マルホ株式会社についての詳細は <https://www.maruho.co.jp> をご覧ください。

【株式会社 Zene について】

株式会社 Zene (2020年2月設立) は、高精度遺伝子検査(ゲノム解析サービス)「Zene360」を、健康保険組合等の保険者、健康経営に注力する企業、医療機関向けに提供するヘルスケアスタートアップです。

Zene360 は、だ液によるゲノム解析を通じて、生活習慣病・がん・認知症などの将来的な疾患リスクを可視化し、一人ひとりに応じた予防行動や生活習慣改善を支援するサービスです。Zene は、ゲノム情報を活用した個別化予防を社会実装し、医療費適正化や健康寿命の延伸に貢献することを目指しています。詳細は以下のホームページをご覧ください。

URL : <https://www.zene.co.jp/>

【株式会社 JMDC について】

医療ビッグデータ業界のパイオニアとして2002年に設立。独自の匿名化処理技術とデータ分析集計技術を有しています。26億件以上のレセプトデータと9,400万件以上の健診データ(2026年3月時点)の分析に基づく保険者向け保健事業支援、医薬品の安全性評価や医療経済分析などの情報サービスを展開しています。また、健康度の単一指標(健康年齢)や健康増進を目的としたWebサービス(Pep Up)など、医療データと解析力で健康社会の実現に取り組んでいます。

URL : <https://www.jmdc.co.jp/>



【Pep Up について】

Pep Up（ペップアップ）は、JMDC が開発・提供し、保険者を中心にご利用いただいている PHR サービスです。Pep Up ユーザーにおいては、スマートフォンアプリ等の手元の健康診断の結果や医療費のデータから自らの健康状態に関する気づきをご提供することができ、活動量計や様々な健康増進メニューによる意識変容や行動変容を促進しております。また、保険者においては、紙や対面で実施してきた業務の負荷軽減に貢献しています。

URL：<https://stories.jmdc.co.jp/pepup>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 JMDC コーポレートコミュニケーション室

TEL：03-5733-5010

Email：jmdc-pr@jmdc.co.jp

（製薬企業・医療機器メーカー、アカデミアの皆さまは担当営業までお問い合わせください）